

砂川 高等学校 令和8年度 教科

国語 科目 論理国語

教科：国語 科目：論理国語

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 3 学年 組～ 組

教科担当者：田海

使用教科書：（新編 論理国語（大修館書店））

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】 日常生活に必要な国語において、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 論理国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けることができるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わり言葉がもつ価値への認識を深めようとする態度や、読書に親しみ自己を向上させ我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉効果を効果的に使おうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数		
		話 聞	書	読							
<p>論理的な人とはどういう人か（野矢茂樹）</p> <p>○思考力と対比して、論理力とは何かを考える。</p> <p>【知識及び技能】 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要を把握する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深め、学習課題に沿って、論理の展開を的確に捉えて要旨を把握し、文章の内容について説明したり話し合ったりする。</p>	<p>・「論理力とは、……」どういうことか、筆者の考えを整理する</p> <p>・「論理力」と「思考力」の関係はどのようなものか、話し合う。</p>				<p>【知識及び技能】</p> <p>・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要を把握している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・進んで文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深め、学習課題に沿って、論理の展開を的確に捉えて要旨を把握し、文章の内容について説明したり話し合ったりしようとしている。</p>	○	○	○	6		
<p>ウサギの耳はなぜ長い？（上田恵介）</p> <p>○論理の組み立てと文章構成の関係について理解する。</p> <p>【知識及び技能】 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要を把握する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・文や文章の効果的な組み立て方について理解を深め、学習課題に沿って、論理の展開を的確に捉えて要旨を把握し、文章の内容について説明したり話し合ったりする。</p>	<p>・自然や生物について興味を持ち、進化の条件とその具体例や「共進化」を理解する。</p> <p>・「共進化」の実相について理解する。</p>			○	○			○	○	○	8
定期考査						○	○				1

1 学期	<p>対話の精神（平田オリザ）</p> <p>【知識及び技能】 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要旨を把握する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深め、学習課題に沿って、論理の展開を的確に捉えて要旨を把握し、文章の内容について説明したり話し合ったりする。</p>	<p>・「対話」と「会話」はどう違うか、その具体例を本文から挙げることで、内容を整理する。</p> <p>・「察しあう文化」「説明しあう文化」の違い、それぞれの背景を整理する。</p> <p>・筆者の考える「対話」とはどのようなものか、本文全体をとおしてまとめる。</p>		<p>【知識及び技能】 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要旨を把握している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深め、学習課題に沿って、論理の展開を的確に捉えて要旨を把握し、文章の内容について説明したり話し合ったりしようとしている。</p>				8
	<p>「人工の自然」（坂村 健）</p> <p>○科学技術から導いた答えを論理的に説明してみる。</p> <p>【知識及び技能】 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深める。</p> <p>【思考力、表現力、判断力等】 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要旨を把握する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで情報と情報との関係について理解を深め、学習課題に沿って、論理の展開を的確に捉え、筋道を立てて説明する。</p>	<p>・人工の自然とは、何か。また自然な自然との違いは何か、を理解する。</p> <p>・知識としての科学技術教養の内容を捉える。</p>		<p>【知識及び技能】 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。</p> <p>【思考力、表現力、判断力等】 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要旨を把握している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで情報と情報との関係について理解を深め、学習課題に沿って、論理の展開を的確に捉え、筋道を立てて説明しようとしている。</p>				6
	<p>定期考査</p>							1

	<p>量の時代から質の時代へ（甲斐かおり）</p> <p>○グラフや表など主張を裏付けるデータを考察することで統計資料を読み取る。</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 <p>【思考力、表現力、判断力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、学習課題に沿って、複数の文章や資料を基に自分の考えを広げ、論証したり討論したりしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「グラフを読み取る」とはどのようなものか、まとめる。 ・「消費の多様化」とは、どのようなことか、項目ごとに整理する。 		<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで主張とその前提との関係について理解を深め、学習課題に沿って、必要な情報を関係付けて自分の考えを深め、発表しようとしている。 				8
2 学 期	<p>学びを広げる 「情報化と紙の本のゆくえ」について考える ○情報社会を生きるうえで大切なことは何か、考えたことを発表する。</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深める。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで主張とその前提との関係について理解を深め、学習課題に沿って、必要な情報を関係付けて自分の考えを深め、発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本単元で学んだことをふまえ、「情報社会」を生きるうえで大切なことは何かについて、考えたことを発表する。 	○		○	○	○	12
定期	考査				○	○		1
	<p>和の思想、間の文化（長谷川 權）</p> <p>○「和」と「間」について述べられていることを意識させ、関心を高めることで、コミュニケーションについて考える。</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 <p>【思考力、表現力、判断力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、学習の見直しをもって、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら主張を支える適切な根拠をそろえ、調べたことを整理して論述する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「和」が「間」を通して実現されるという筆者の主張について整理する。 ・「間」の文化を認識させることでコミュニケーションについて考える。 	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 <p>【思考力、表現力、判断力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、学習の見直しをもって、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら主張を支える適切な根拠をそろえ、調べたことを整理して論述しようとしている。 	○	○	○	8

	定期考査									○	○		1
3 学 期	ミロのヴィーナス（清岡卓行） ○ミロのヴィーナスの「魅力」について考える。 【知識及び技能】 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深める。 【思考力、表現力、判断力等】 ・多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にする。 【学びに向かう力、人間性】 ・進んで主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深め、学習の見直しをもって、多面的・多角的な視点から自分の考えを見直し、考察した内容をまとめる。	・次の表現について、それぞれわかりやすく説明する。 ①「部分的な具象の放棄による、ある全体性への偶然の肉薄」 ②「表現における量の変化ではなく、質の変化である」 ③「手というものの、人間存在における象徴的な意味」 ・「ほかならぬ……奏であるのである。」とはどういうことか、筆者の考えをまとめる。											
	「である」ことと「する」こと（丸山真男） ○「市民社会」における権利と義務について考える。 【知識及び技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、表現力、判断力等】 ・文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、学習課題に沿って、資料との関係を把握して内容や構成を的確に捉え、自分の考えを論証したり討論したりしようとしている。	・節ごとに要点をまとめる。 ・次の部分はどのようなことを言っているか、簡潔に説明する。 ①アームチェアから……気性の持ち主 ②ある面では……過近代的でもある ③「である」社会のモラルによってセメント化されてきた ④芸術や教養は「果実よりは花」 ⑤政治には……価値などというものはない ⑥ラディカル（根底的）な……結びつくこと ・「である」論理・「する」論理とはどういうものか、対になっている例を本文から抜き出し、それぞれ説明する。 ・身近な問題を取りあげ、「である」論理と「する」論理の観点から、800字程度の文章を書く。											
	定期考査									○	○		1

合計
78